

# 第45回 全国腎疾患管理懇話会

学術大会 in やまなし

テーマ

## 新型コロナウイルス感染症に学ぶ 透析施設の感染対策

会期 2022年12月4日(日)

形式 Web開催

主催 全国腎疾患管理懇話会

大会事務局 公益社団法人 山梨勤労者医療協会  
甲府共立病院



武田信玄公像 撮影:飯窪 護

# 第45回 全国腎疾患管理懇話会

学術大会 in やまなし

テーマ

## 新型コロナウイルス感染症に学ぶ 透析施設の感染対策

会期

2022年12月4日(日)

形式

Web開催

主催

全国腎疾患管理懇話会

大会  
事務局

公益社団法人 山梨勤労者医療協会  
甲府共立病院 血液浄化室

後援

一般社団法人 山梨県臨床工学技士会

# INDEX

---

大会長あいさつ	1
参加される皆さまへ	2
分科会演者・座長の皆様へ	3
日 程 表	4
プログラム	5
講 演 抄 録	
特別講演	13
シンポジウム	14
分科会抄録	
分科会演題一覧(県連別)	23
抄    録	25
全国腎疾患管理懇話会のあゆみ	46
全国腎疾患管理懇話会 会則	50
会員名簿	51
世話人・監事名簿	53
第44回全国腎疾患管理懇話会総会報告	54
実行委員一覧	57

# 大会長あいさつ

第45回全国腎疾患管理懇話会学術大会 in やまなし

大会長 木戸 美之

公益社団法人 山梨勤労者医療協会  
甲府共立病院



このたび、第45回全国腎疾患管理懇話会学術大会を2022年12月4日日曜日に山梨で開催することとなりました。皆さんと3年ぶりの再会を目指し、現地開催の準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症はいまだ収束の気配なく、やむなく現地開催は断念し、昨年につきWEB開催の運びとなりました。山梨を少しでも感じて頂けるよう精一杯努めて参りたいと思っています。

今大会のテーマは、昨今の情勢を鑑みて、『新型コロナウイルス感染症に学ぶ透析施設の感染対策』としました。透析室は院内でもとりわけ特殊な環境にあります。この3年弱の間、新型コロナウイルス感染症には、感染症の怖さとその対策の重要性を改めて思い知らされてきました。今後も現れるであろう新興感染症に対して透析施設でできる対策を一度振り返り、皆さんと考えられるように、事前アンケートの集計結果、医師、看護師、臨床工学技士などからの報告をもとにシンポジウムを企画しています。皆さんの経験や知恵をお借りして活発な討論となることを願っています。特別講演では、下落合クリニック院長の菊池勘先生をお招きして新型コロナウイルス感染症や新興感染症対策についてご講演頂きます。一般演題も例年通り募集いたします。医師、看護師、臨床工学技士のみならず、薬剤師、栄養士、理学療法士、MSW、医療事務など幅広く演題登録をお願い致します。

さて、皆さんはダイヤモンド富士をご存知でしょうか？今大会のポスター写真は日の出時間に見ることができる神秘の瞬間＝ダイヤモンド富士です。当初は暗闇の中での新型コロナウイルスへの手探りでの対応、緊急事態宣言、変異株の出現、度重なる感染拡大、そんな中で地域医療をまもるために仲間と奮闘する日々でした。それを尻目に戦争の脅威が迫り来る昨今の世界情勢です。コロナ収束、人と人とが傷つけ合うことのない平和な世界、明るい光が差し込む夜明けが近いことを祈願しました。そんな未来に向けて甲斐の戦国武将・武田信玄のごとく出陣したい気概です。

全国の皆さんの多数のご参加をお待ちしております。

# 参加される皆さまへ

## 1. 開催方式

Web 開催と後日オンデマンド配信

Zoom ウェビナー：開会式、シンポジウム、特別講演、閉会式

Zoom ミーティング：分科会

大会ホームページの特設サイトより、専用のアクセス ID とパスワードでご入室頂けます。

## 2. 参加方法

① 参加申込及び参加費納入を事務局にて確認できた方が、参加登録者となります。

② 大会ホームページ内特設サイトからアクセスしご参加ください。

## 3. 大会参加費

医 師 10,000円

他職種 2,500円

## 4. プログラム・抄録集

参加登録者には抄録集を送付致します。

## 5. 日本透析医学会 専門医申請・更新のための単位が取得できます。

参加された医師には、後日全腎懇世話人会事務局より必要書類が送付されます。

## 6. 日本臨床工学技士会 血液浄化専門認定技士の更新ポイント取得できます。

## 7. 関連会議日程

【全腎懇総会】

12月4日(日)11:40～12:10

# 分科会演者・座長の皆様へ

分科会は Zoom ミーティングを利用して行います。

## 【演者の皆様へ】

### 発表の流れ

- ① 演者は、前演者の発表までにご発表の分科会に入ってください。
- ② 発表は、登録いただいた動画でご発表頂きます。
- ③ 質疑は3分となります。動画発表後、マイクとカメラをオンにいただき、質疑応答をお願い致します。
- ④ 次の発表に移りましたら、マイクをオフにしてください。

## 【座長の皆様へ】

### 1. 座長2名とホスト1名で各分科会の全演題を担当して頂きます。

各分科会のホストより動画配信を行います。

閉会式で各分科会の講評をお願いします。

### 2. 接続環境について

#### ① 接続環境

- インターネット接続環境  
安定した接続状況を確認するために、インターネットへの接続は出来る限り有線のご利用をお願い致します。  
Wi-Fi でのご利用の場合、通信状況が不安定となる恐れがあります。
- ご使用の PC の機能のご確認  
ご利用となる PC に、カメラ・マイク・スピーカー機能が付属していることをご確認ください。  
使用時には、電源コンセントへの接続をご確認ください。

#### ② 接続時の注意事項

- 接続は、必ず大会ホームページの特設サイトより入室ください。
- 入室時、表示名はフルネームと施設名で設定ください。

### 3. 前日リハーサルについて

日 程：12月3日(土) 16時～18時まで

時間のご都合が付かない方は、事務局までご連絡ください。

Web 環境等のご確認を頂けます。当日実際に使用する環境にて接続テストを行ってください。

※ 詳しい詳細は、11月30日(水)18時までにメールにてご連絡致します。12月1日(木)12時以降になってもメールが届いていない場合には、大会事務局までお問い合わせください。

# 日 程 表

## 12月4日(日)

	第1会場 (Zoom)	第2会場 (Zoom)	第3会場 (Zoom)	第4会場 (Zoom)
8:30	8:30～ <b>参加開始</b>			
9:00	8:50～9:00 <b>開会式</b>	司会：荒川 昌紀 (甲府共立病院)		
10:00	9:00～10:30 <b>シンポジウム</b> <b>新型コロナウイルス感染症に学ぶ 透析施設の感染対策</b> 演者：井原 光子(健和会病院) 山田 美紀子(京都民医連中央病院) 鈴木 創(立川相互病院) 飯窪 護(甲府共立病院) 土谷 良樹(東葛病院) 座長：飯窪 護(甲府共立病院) 奥平 千世子(甲府共立病院)			
11:00	10:30～11:30 <b>特別講演</b> <b>透析患者における新型コロナウイルス 感染症の現状と最新の話</b> 演者：菊地 勘 (医療法人社団豊済会下落合クリニック) 座長：木戸 美之(甲府共立病院)			
12:00	11:40～12:10 <b>全腎懇総会</b>			
13:00	12:10～13:00 <b>昼 休 憩</b> <b>『いのち燃えて』 放映</b> <b>1983年山梨勤医協倒産と再建</b>			
14:00	13:00～14:40 <b>第1分科会</b>  座長：奥平 千世子(甲府共立病院) 河野 一也(甲府共立病院)	13:00～14:40 <b>第2分科会</b>  座長：相澤 志津 (巨摩共立病院) 井上 砂織 (巨摩共立病院)	13:00～14:40 <b>第3分科会</b>  座長：野澤 としみ (石和共立病院) 高嶋 梢 (石和共立病院)	13:00～14:40 <b>第4分科会</b>  座長：深澤 宏基 (甲府共立病院) 白倉 久美子 (甲府共立病院)
15:00	14:50～15:00 <b>閉会式</b>  次回開催 PR in 京都			

## プログラム

12月4日(日) Web開催

8:50~9:00 開 会 式

司会：荒川 昌紀(甲府共立病院)

9:00~10:20 シンポジウム

第1会場(Zoom)

座長：飯窪 護(甲府共立病院)  
奥平 千世子(甲府共立病院)

## [ 新型コロナウイルス感染症に学ぶ透析施設の感染対策 ]

**S-1** COVID19と歩んだ感染予防と対策・対応の日々

井原 光子(社会医療法人健和会 健和会病院)

**S-2** コロナ禍における透析外来での患者対応

山田 美紀子(公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院 腎センター)

**S-3** 一般透析診での COVID-19 対応透析の状況：東京から

鈴木 創(健生会 立川相互病院)

**S-4** 換気効率を維持するための環境整備

飯窪 護(公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 臨床工学室)

**S-5** ワクチンの予防効果と薬剤の種類と投与方法

土谷 良樹(東京勤労者医療会 東葛病院 内科部長、腎臓内科科長)

10:30~11:30 特別講演

第1会場(Zoom)

座長：木戸 美之(甲府共立病院)

## 透析患者における新型コロナウイルス感染症の現状と最新の話題

菊池 勘(医療法人社団豊済会 下落合クリニック 理事長)

11:40~12:10 全腎懇総会

第1会場(Zoom)

12:10~13:00 昼 休 憩

第1会場(Zoom)

『いのち燃えて』放映  
1983年山梨勤医協倒産と再建



座長：奥平 千世子 (甲府共立病院)  
河野 一也 (甲府共立病院)

- 1-01 当院腎センターにおける COVID-19 に対する感染対策**  
小島 茜 (臨床工学技士)  
県連：東京 東京勤労者医療会 東葛病院
- 1-02 透析室における新型コロナウイルス感染症対策**  
岩坪 志和 (看護師)  
県連：沖縄 沖縄医療生活協同組合 とよみ生協病院
- 1-03 新型コロナウイルス陽性透析患者の受け入れ対応**  
三宅 康裕 (臨床工学技士)  
県連：京都 公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院
- 1-04 新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題**  
小澤 麻美 (看護師)  
県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 血液浄化室
- 1-05 新型コロナウイルス感染症の感染対策に対する患者アンケートから見たこと**  
後藤 智子 (看護師)  
県連：東京 社会医療法人財団 城南福祉医療協会 大田病院
- 1-06 コロナ禍における感染対策 クラスター発生を経験して**  
市川 恵美 (看護師)  
県連：東京 医療法人財団健和会 柳原腎クリニック
- 1-07 コロナウイルス感染症に対する感染対策の取り組み うつらない・持ち込まないために**  
岩川 知恵美 (看護師)  
県連：大阪 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
- 1-08 透析室と病棟を交差した新型コロナウイルス院内感染拡大の経験と今後の対策**  
田中 美穂 (看護師)  
県連：石川 公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院
- 1-09 新型コロナワクチン接種後の重篤・死亡が疑われる、脳出血をきたした透析患者の3事例**  
達川 知美 (医師)  
県連：石川 公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院 総合診療プログラム専攻医
- 1-10 当透析センターにおける新型コロナウイルス感染症第7波での感染状況と来院時検査について**  
大塚 健太郎 (医師)  
県連：岐阜 すこやか透析センター、みどり病院

座長：相澤 志津 (巨摩共立病院)

井上 砂織 (巨摩共立病院)

**2-01 震災で糖尿病合併症悪化した症例**

加茂 純子 (医師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 眼科

**2-02 当院における糖尿病透析予防教育の効果**

河合 裕美子 (医師)

県連：京都 公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院

**2-03 当院における血液回路のテープ固定について**

砂川 貴久 (臨床工学技士)

県連：大阪 公益財団法人 淀川勤労者厚生協会付属 西淀病院

**2-04 レオカーナ HD 併用による評価**

覚野 竜貴 (臨床工学技士)

県連：大阪 同人会 耳原総合病院

**2-05 当院の透析監視装置メンテナンス運用方法と定期 OH の翌日以降に起こる警報の統計**

岡本 拓也 (臨床工学技士)

県連：大阪 耳原総合病院

**2-06 より良い医療提供のための取り組み ～満足度調査の分析から～**

島田 智子 (看護師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 血液浄化室

**2-07 当院における糖尿病透析予防外来の現状報告と今後の課題**

右高 美由紀 (看護師)

県連：千葉 社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院 ふたわ診療所

**2-08 血液透析患者の過剰な体重増加に対するセルフマネジメント支援**

渡邊 佐和 (看護師)

県連：東京 東京勤労者医療会 東葛病院

**2-09 透析間体重増加の多い患者が食事・飲水量の自己管理に目を向けるための関わり**

金田 花紘 (看護師)

県連：東京 社会医療法人財団 城南福祉医療協会 大田病院

**2-10 透析指導となった患者への適した透析指導 ～面談を通してみえてきた課題～**

横森 文 (看護師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 血液浄化室

座長：野澤 としみ (石和共立病院)  
高嶋 梢 (石和共立病院)

**3-01** 下肢切断を通し関わった血液浄化室の看護の振り返り

中畑 美智子 (看護師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 血液浄化室

**3-02** 高齢透析患者に対する当院でのフレイル対策

古田 亜梨紗 (看護師)

県連：岐阜 みどり病院 すこやか診療所 すこやか透析センター

**3-03** その人らしさを支える ～高齢透析患者の生きがいを支える看護とは～

下岡 瞳 (看護師)

県連：東京 社会医療法人社団 健生会 すながわ相互診療所

**3-04** 統合失調症患者の透析導入

中村 暁 (看護師)

県連：京都 公益社団法人 京都民医連 中央病院

**3-05** 透析穿刺針による血流量の評価①

吉田 昂平 (臨床工学技士)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 臨床工学室

**3-06** 透析穿刺針による血流量の評価②

唐澤 諒伍 (臨床工学技士)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 臨床工学室

**3-07** 穿刺針の違いによる流量の評価と検討

近田 亮介 (臨床工学技士)

県連：大阪 耳原総合病院

**3-08** 全国腎疾患管理懇話会の慢性透析療法の現況 2021年12月31日現在

古町 和弘 (臨床工学技士)

県連：長野 社会医療法人 健和会 健和会病院、全国腎疾患管理懇話会 統計調査委員会

**3-09** 診断に難渋したアミロイド腎症の1例

松田 航一 (医師)

県連：京都 京都民医連中央病院

座長：深澤 宏基 (甲府共立病院)  
白倉 久美子 (甲府共立病院)

**4-01** 当院のVAエコー管理 ～定期VAエコーを始めて～

片寄 智子 (臨床工学技士)

県連：東京 医療法人財団 健和会 柳原腎クリニック

**4-02 VAトラブルへの対応と課題**

津山 高志(臨床工学技士)

県連：東京 社会医療法人社団健生会 すながわ相互診療所

**4-03 当院におけるVA管理の現状報告**

西本 昌司(臨床工学技士)

県連：大阪 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院

**4-04 バスキュラーアクセス管理のため再循環率測定の有用性**

近藤 里奈(臨床工学技士)

県連：京都 京都民医連中央病院 臨床工学課

**4-05 腎生検を行う患者に対する統一した看護ケアの実践  
～クリニカルパスの活用と改善について～**

大畑 貴子(看護師)

県連：福岡 千鳥橋病院

**4-06 当院における腎代替療法(RRT)選択説明における取り組みまとめと今後の課題**

中村 悦子(看護師)

県連：京都 京都民医連 中央病院

**4-07 認知症高齢患者の多職種間カンファレンスに取り組んで**

島本 聖香(看護師)

県連：大阪 淀川勤労者厚生協会 西淀病院 血液浄化室

**4-08 シェントトラブル予防に向けた遠赤外線治療器活用のための  
カンファレンス導入の取り組み**

塩澤 詩穂(看護師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 巨摩共立病院 透析室

**4-09 いわゆる透析心筋症の病態と治療**

三浦 克弥(医師)

県連：山梨 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 石和共立病院

**4-10 PLWHの透析患者における2剤レジメンの経験**

土谷 良樹(医師)

県連：東京 東京勤労者医療会 東葛病院

14:50～15:00 閉会式

第1会場(Zoom)

次回開催 PR in 京都

# 講演抄録



## 透析患者における新型コロナウイルス感染症の 現況と最新の話題

菊地 勘 (きくち かん)

医療法人社団豊済会 下落合クリニック 理事長

### 略 歴

- 1998年3月  
杏林大学医学部 卒業
- 1998年4月  
杏林大学医学部 第3内科
- 2001年4月  
東京女子医科大学 第四内科(腎臓内科)
- 2006年3月  
医学博士(東京女子医科大学)
- 2006年4月  
東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター 血液浄化療法科 助教
- 2009年4月  
医療法人社団豊済会  
下落合クリニック 院長  
  
東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター 血液浄化療法科 講師(非常勤)
- 2014年1月  
医療法人社団豊済会 理事長

### 主な所属学会・学会活動

- 日本透析医会
- 日本透析医学会
- 日本腎臓学会
- 新型コロナウイルス感染対策合同委員会 委員長
- 日本透析医会 理事
- 日本透析医学会 理事
- 日本腎・血液浄化AI学会 理事
- 日本腎臓学会
- 日本肝臓学会

### 受賞

- 2015年  
日本透析医学会 奨励賞
- 2020年  
日本透析医学会  
日本透析医学会賞(木本賞)

日本透析医会、日本透析医学会および日本腎臓学会による新型コロナウイルス感染対策合同委員会では、2020年4月8日より日本の透析施設における COVID-19 新規感染症例の調査を開始した。

この調査によると、第1波の致死率は24.7%、第2波の致死率は21.7%、第3波の致死率は28.4%、第4波の致死率は29.0%と報告されており、新型コロナウイルスワクチン(以下、ワクチンと記載)の接種開始前の致死率は非常に高率であった。

2021年2月17日より医療従事者に対してワクチンの接種が開始され、4月12日より高齢者や基礎疾患を有する者などへの接種が開始された。その後のデルタ株による第5波での致死率は12.3%と半分以下に低下し、透析患者においてもワクチンの有効性が認識された。そして、2022年より始まったオミクロン株による第6波と第7波では、ウイルスの変異による特性からさらに致死率は低下して、第6波の致死率は5.0%、第7波の致死率は2.2%であったが、一般人口と比較すると非常に高い致死率であった。

新型コロナウイルスの流行から、様々なワクチンや中和抗体薬、抗ウイルス薬が登場したが、ウイルスの変異により効果が減弱するを経験し、新たなワクチンや抗体薬への変更が必要となった。しかし、ウイルスが変異しても感染対策は変化しないことを再認識する必要がある。「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」に準じた感染対策を、患者およびスタッフ全員で繰り返すことが非常に重要となる。

この抄録を執筆している、2022年11月13日時点では、第8波が始まっている。オミクロン株による第6波および第7波では、急激な患者数の増加から、透析患者は原則入院というシステムが困難となり、軽症者は当該施設での外来透析を継続することが求められるようになった。このため、外来透析を継続する COVID-19 透析患者が重症化して入院や死亡とならないように管理する必要がある。透析患者では、重症化や死亡を抑制するために、定期的なワクチン接種を行い、抗体価を十分に上昇させておくこと、感染した場合には速やかな抗ウイルス薬の投与を行うことが重要となる。

分 科 会  
抄 録

## 分科会演題一覧(県連別)

県連	名前	事業所名	職種	演題名	演題番号
千葉	右高 美由紀	ふたわ診療所	看護師	当院における糖尿病透析予防外来の現状報告と今後の課題	2-07
東京	小島 茜	東葛病院	臨床工学技士	当院腎センターにおける COVID-19に対する感染対策	1-01
東京	後藤 智子	大田病院	看護師	新型コロナウイルス感染症の感染対策に対する患者アンケートから見えたこと	1-05
東京	市川 恵美	柳原腎クリニック	看護師	コロナ禍における感染対策 クラスター発生を経験して	1-06
東京	渡邊 佐和	東葛病院	看護師	血液透析患者の過剰な体重増加に対するセルフマネジメント支援	2-08
東京	金田 花絃	大田病院	看護師	透析間体重増加の多い患者が食事・飲水量の自己管理に目を向けるための関わり	2-09
東京	下岡 瞳	すながわ相互診療所	看護師	その人らしさを支える ～高齢透析患者の生きがいを支える看護とは～	3-03
東京	片寄 智子	柳原腎クリニック	臨床工学技士	当院の VA エコー管理 ～定期 VA エコーを始めて～	4-01
東京	津山 高志	すながわ相互診療所	臨床工学技士	VA トラブルへの対応と課題	4-02
東京	土谷 良樹	東葛病院	医師	PLWH の透析患者における2剤レジメンの経験	4-10
石川	田中 美穂	城北病院	看護師	透析室と病棟を交差した新型コロナウイルス院内感染拡大の経験と今後の対策	1-08
石川	達川 知美	城北病院	医師	新型コロナワクチン接種後の重篤・死亡が疑われる、脳出血をきたした透析患者の3事例	1-09
山梨	小澤 麻美	甲府共立病院	看護師	新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題	1-04
山梨	加茂 純子	甲府共立病院	医師	震災で糖尿病合併症悪化した症例	2-01
山梨	島田 智子	甲府共立病院	看護師	より良い医療提供のための取り組み ～満足度調査の分析から～	2-06
山梨	横森 文	甲府共立病院	看護師	透析指導となった患者への適した透析指導 ～面談を通してみえてきた課題～	2-10
山梨	中畑 美智子	甲府共立病院	看護師	下肢切断を通し関わった 血液浄化室の看護の振り返り	3-01
山梨	吉田 昂平	甲府共立病院	臨床工学技士	透析穿刺針による血流量の評価①	3-05
山梨	唐澤 諒伍	甲府共立病院	臨床工学技士	透析穿刺針による血流量の評価②	3-06
山梨	塩澤 詩穂	巨摩共立病院	看護師	シャントトラブル予防に向けた遠赤外線治療器活用のためのカンファレンス導入の取り組み	4-08
山梨	三浦 克弥	石和共立病院	医師	いわゆる透析心筋症の病態と治療	4-09
長野	古町 和弘	健和会病院	臨床工学技士	全国腎疾患管理懇話会の慢性透析療法の現況 2021年12月31日現在	3-08
岐阜	大塚 健太郎	すこやか透析センター	医師	当透析センターにおける新型コロナウイルス感染症第7波での感染状況と来院時検査について	1-10
岐阜	古田 亜梨紗	すこやか透析センター	看護師	高齢透析患者に対する当院でのフレイル対策	3-02



県連	名 前	事業所名	職 種	演 題 名	演題番号
京都	三宅 康裕	京都民医連中央病院	臨床工学技士	新型コロナウイルス陽性透析患者の受け入れ対応	1-03
京都	河合 裕美子	京都民医連中央病院	医師	当院における糖尿病透析予防教育の効果	2-02
京都	中村 暁	京都民医連中央病院	看護師	統合失調症患者の透析導入	3-04
京都	松田 航一	京都民医連中央病院	医師	診断に難渋したアミロイド腎症の1例	3-09
京都	近藤 里奈	京都民医連中央病院	臨床工学技士	バスキュラーアクセス管理のため 再循環率測定の有用性	4-04
京都	中村 悦子	京都民医連中央病院	看護師	当院における腎代替療法(RRT)選択説明における 取り組みまとめと今後の課題	4-06
大阪	岩川 知恵美	耳原総合病院	看護師	コロナウイルス感染症に対する感染対策の取り組み うつらない・持ち込まないために	1-07
大阪	砂川 貴久	西淀病院	臨床工学技士	当院における血液回路のテープ固定について	2-03
大阪	覚野 竜貴	耳原総合病院	臨床工学技士	レオカーナ HD 併用による評価	2-04
大阪	岡本 拓也	耳原総合病院	臨床工学技士	当院の透析監視装置メンテナンス運用方法と定期 OH の翌日以降に起こる警報の統計	2-05
大阪	近田 亮介	耳原総合病院	臨床工学技士	穿刺針の違いによる流量の評価と検討	3-07
大阪	西本 昌司	耳原総合病院	臨床工学技士	当院における VA 管理の現状報告	4-03
大阪	島本 聖香	西淀病院	看護師	認知症高齢患者の 多職種間カンファレンスに取り組んで	4-07
福岡	大畑 貴子	千鳥橋病院	看護師	腎生検を行う患者に対する統一した看護ケアの実践 ～クリニカルパスの活用と改善について～	4-05
沖縄	岩坪 志和	とよみ生協病院	看護師	透析室における 新型コロナウイルス感染症対策	1-02

## 1-01 当院腎センターにおける COVID-19に対する感染対策

県連：東京

○小島 茜(こじま あかね 臨床工学技士)  
東京勤労者医療会 東葛病院

### 【対象】

透析管理患者 247名

透析スタッフ 54名

### 【方法】

発熱者及び濃厚接触者の隔離を徹底し、入室は裏導線を利用した。自宅での体温測定的重要性をポスターにして発熱時は事前に連絡をするように促した。2021年6月にワクチン接種に関して市と協議し透析患者分のワクチンを確保し透析室で接種した。スタッフ向けにはPPE着脱や手指消毒強化の勉強会を開いた。2020年8月には陽性者病棟内で透析ができるように準備した。

【結果】管理患者のうち16名が罹患し、他院より4名の受け入れを行った。軽症9名、中等症Ⅰ6名、中等症Ⅱ3名、無症状2名であり、陽性者を含む延べ166名が発熱等の症状や濃厚接触者として個室で施行した。隔離期間中の透析回数は陽性者では $4.1 \pm 0.9$ 回、濃厚接触者や発熱者では $2.3 \pm 1.9$ 回であり、重症化することなく退院後もQOL低下はみられていない。ワクチン接種率は98.0%であり、感染拡大や重症化予防に寄与しているのではないかと推察される。

またスタッフは16名が罹患したが、院内基準従い10日間の自宅療養、陰性確認後に復帰している。

上記対策を遵守し、患者、スタッフ含めこれまで腎センター内のクラスター発生はない。

【考察】当院では感染対策として、以前よりガイドライン(5訂版)に則ってきたが、今回の感染拡大において更に見直しを徹底することで、感染を最小限に留めることができた。

Keywords：COVID-19、感染対策

資料請求

〒270-0153 千葉県流山市中102-1  
TEL：04-7159-1011

## 1-02 透析室における 新型コロナウイルス感染症対策

県連：沖縄

○岩坪 志和(いわつぼ しより 看護師)、窪 清美、  
屋比久 七重、新川 良子  
沖縄医療生活協同組合 とよみ生協病院

【はじめに】沖縄県は人口10万人あたりの新型コロナウイルス感染症の感染者数が高い水準で推移しており、全国透析患者累計感染者数では、沖縄県が全体の約10%を占めていた。透析室は一つの空間に大人数で治療を行う特殊な環境であり、透析患者は易感染状態、重症化率が高く感染対策は重要な課題である。

2021年4月73床のフロア内で4例の感染経路不明の陽性者が出た為業務改善を行い、感染対策を徹底できるように取り組んだ。その後、累計70名の透析患者が陽性となったが、患者間での感染伝播は起きていない。その要因として業務改善、感染防止の取り組みが効果的であったか示唆を得るため考察し報告する。

### 【研究方法】

- 1) 対象 2021年4月～2022年8月の期間在籍した透析室職員、透析患者。
- 2) 方法 (1) 新型コロナウイルス感染症陽性透析患者月別調査、(2) 感染経路、(3) 体調不良時事前連絡の有無、(4) アルコール平均使用量との関係。
- 3) 感染対策の実際 (1) 患者指導・教育、(2) 業務・療養環境改善、(3) スタッフ指導・教育。

【結果】2021年5月以降70名の透析患者が陽性となったが、感染経路、周囲の接触者調査から適切な対策がとれている場面では患者間、職員・患者間での感染の発生はなかったと判断できた。

職員一人当たりのアルコール使用量の平均が個人携帯用へ変更前後で約3倍増加した。

【考察・まとめ】陽性者が発生した場合、病棟や外来では状況により閉鎖する事もあるが、透析治療は患者の生命維持の為継続して行う必要がある。外来透析では患者の外部からの持ち込みを防ぐことは難しいが、日常的に患者の特性に合わせ患者教育を行う事、基本的感染対策を徹底する事で、感染伝播リスクの低減は可能と示唆できる。

Keywords：新型コロナウイルス感染症、感染防止対策、患者指導

資料請求

〒901-0293 沖縄県豊見城市字真玉橋593番地の1  
TEL：098-850-9000 FAX：098-850-1829

第45回全国腎疾患管理懇話会学術大会  
プログラム・抄録集

---

大会長：木戸 美之

事務局：甲府共立病院 血液浄化室  
〒400-0034 甲府市宝1-9-1  
TEL：055-226-3131  
E-mail：zenzinkon45@s.yamanashi-min.jp

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://www.secand.jp/>

第45回 全国腎疾患管理懇話会学術大会 事務局

甲府共立病院 血液浄化室

〒400-0034 甲府市宝1-9-1

TEL: 055-226-3131

E-mail: zenzinkon45@s.yamanashi-min.jp